

極楽苑 全体目標

新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されて以降、感染予防に努めながら日常を取り戻すことが求められました。昨年度より、感染対策を図りながら従前の各種行事に加え、音楽をテーマにした世代間交流や初の紅白のど自慢大会など様々な行事を行い、いずれもご家族様やボランティアの皆様、地域の皆様にご協力いただき無事に開催することができました。これらの活動は、地域社会を豊かにするだけでなく、入居者様にとって充実感や心理的幸福感をもたらし、心身の健康状態を向上させる効果があります。今年度も引き続き実施してまいります。

食費や物価高騰が高止まりの中、工夫を凝らし季節を感じられる献立や行事食、おやつ作りに力をいれてまいります。「幸せを支える栄養」を目標に管理栄養士の配置を手厚くし健康管理に努めてまいります。今年度より新たに歯科衛生士の配置を行い、口腔評価を基に高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防を目指した口腔ケアを実践いたします。また、介護機器の導入によりノーリフティングケア（抱え上げないケア）を行うことで、ご入居者にとっても職員にとっても安全かつ快適な環境の中で、ケアの質向上に資する新たな取り組みや質の高いケアを提供してまいります。

地域支援事業の一環として、名古屋市の委託を受け「高齢者いきいき相談室」、「なごや認知症カフェ」を継続してまいります。

採用に関しては、今年度も有資格者や外国人（特定技能実習生や介護ビザ取得者）を積極的に採用し、労働環境整備並びに定着支援に努めてまいります。

特別養護老人ホーム極楽苑

◆『誤嚥性肺炎予防ケアの強化』

歯科医師との連携を図り、口腔ケアの専門性を高め口腔機能評価（OHAT）を用いてお一人おひとりに合わせたケアを行います。歯科衛生士や管理栄養士の配置により、口腔衛生管理を強化すると共に食事中の工夫（姿勢や食形態）、お口の筋肉を維持向上するための口腔体操にも力を入れ、誤嚥性肺炎予防に努めます。

◆『福祉用具やリフトを活用した安全な移乗ケアの実施』

ノーリフティングケア（抱え上げないケア）により安全性と効率性の両立を図ります。浴室に天井走行リフトを導入することで、日常生活の移乗動作において抱え上げないケアの徹底を目指します。安全な移乗ケアを実施することで、入居者様の負担軽減と職員の腰痛予防を図ります。

◆『医療機関との連携強化』

嘱託医および地域の医療機関との連携を強化することで、ご入居者の病状急変時の対応を迅速に行い重症化の予防に努めます。

◆『地域ニーズに応じた柔軟な対応』

ショートステイでは、介護者の突発的な事情においても、迅速かつ柔軟な受け入れを行える体制を整え社会的な問題解決に努めます。また、専門職による個別リハビリを実施し、在宅生活が継続できるよう支援いたします。

デイサービスセンター極楽苑

◆『口腔ケアの強化』

専門職を配置し、お一人おひとりに合わせた口腔ケアを実施することで、口腔機能の維持向上を目指します。誤嚥性肺炎の予防や栄養状態の改善を図り、生活の質（QOL）の向上に努めます。

◆『効果的な自立支援の取り組み』

音楽を中心とした様々なレクリエーションの充実を図り、ご利用者同士の交流を通してコミュニケーションの促進と認知機能低下予防を目指します。ご利用者の尊厳を大切に、在宅生活が継続できるよう支援いたします。

極楽苑居宅介護支援事業所

◆『サービス事業所との連携強化』

心身の状況に応じた適切なサービス提供に努めます。ご利用者の持つ強みを引き出す・いかすことのできる支援を行い、多様なニーズに対応できる相談支援体制のもと、サービス事業所との連携を強化して住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう支援いたします。

◆『ケアマネジメントの質の向上』

複雑化していく課題への対応力強化に努めます。地域事業所との事例検討会や各種研修会をはじめ、行政・医療・いきいき支援センター・社会資源などを多職種とも協働して、公正中立に総合的かつ効果的な役割を担えるように努めます。